（様式１：令和３年２月改訂）

令和７年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	佐世保市立相浦中学校	作成者	職名	教頭
電話番号	０９５６－４８－２５２２		氏名	瀬尾　大志

１　年間の実施内容（取組状況・実績等）

４月	実施テーマ	・法令遵守体制の確立 ・セクハラ、パワハラ行為の根絶 ・コンプライアンスの徹底 ・交通事故防止 ・体罰、暴言の根絶 ・情報セキュリティの徹底

取組の評価・改善点

・校長の学校経営方針説明において、服務規律強化、コンプライアンスの徹底について校長指導を実施した。
・セクハラ担当者を職員の中から１名互選、管理職から 1 名依頼し担当者を決定した。
・校務分掌決定に際して、校内服務規律、セクハラ対策委員会の構成を確認した。
・交通事故０を目指し、できるだけ多くの声掛けを行った。
・体罰をおこさない職員間の連携を確認する。指導は複数の職員で行うことの確認をした。「私の『体罰根絶』宣言」は「私の『体罰・不適切な指導根絶』宣言」に変えて、標語作成を行った。
・USB の使用法などを確認し、情報セキュリティの徹底を呼び掛けた。
・児童生徒の継続的な指導支援のための引き継ぎガイドラインを活用し、適切な指導支援を確認することで、全職員が共通理解し、個々の教職員の指導力を向上させた。

８月	実施テーマ	・不祥事根絶のための働きやすい職場づくり ・情報セキュリティの徹底 ・セクハラの根絶 ・飲酒運転の根絶 ・交通事故防止

取組の評価・改善点

・セクハラ根絶のため自己チェックシートを活用し、自己を見つめなおす機会を設定した。
・具体的な事例を用いながら、不祥事を起こさない職場づくりのための校内研修を行った。不祥事に至る理由・改善策等を職員で考え、相浦中不祥事根絶キャッチフレーズを職員から募集した。キャッチフレーズを「小さな気づきが大きな安心～良い風通そう相浦～」と題し、職員室の前面に掲示して、意識高揚を図った。
・校内研修で情報セキュリティに関する研修を実施した。
・翌日にお酒が残らないよう量・時間を考えるように呼びかけを行った。
・時間にゆとりを持って車の運転を行うように呼びかけを行った。

１２月	実施テーマ	・飲酒運転の根絶 ・交通事故防止 ・セクハラ、パワハラ行為の根絶

取組の評価・改善点

・飲酒機会が増えることが考えられるので、週末等には「飲酒運転の撲滅」「交通事故防止」を呼びかけた。年末に交通事故が１件発生してしまった。ハンドルを握る際は、さらに注意をして運転することを確認した。
・セクハラアンケートを実施し、その結果をもとにセクハラ行為の根絶に取り組んだ。

2　服務規律委員会	
委員会名	**相浦中学校服務規律委員会**
構 成 員	所属内委員（１１名)、外部委員（１名　役職等：PTA 会長　）

3　年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。(複数回答可)

イ	**カ**	**キ**	**ク**	**ケ**	**コ**				

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。

※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ)。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 少し不十分	(　) できなかった

(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 少し不十分	(　) できなかった

(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 不十分だった	(　) 実施してない

資料添付	有　・　無

＜実施結果報告書作成に関して＞

※　様式枠の大きさは適宜変更してください。

※　各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【 工夫（例)】

ア　運営の工夫
- 管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ　具体的な事例の紹介
- 県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ　外部講師を招いての講話

エ　体験的な研修
- ロールプレイを取り入れる。

オ　グループ討議
- 小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- 「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ　ワークシートの作成
　・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。
キ　チェックリストを作成
　・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。
ク　ファイリングして保存
　・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
ケ　決意表明
　・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
コ　職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
　・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。